35

医学における機能主義とエネルギー

シドネイ・ローズネイル（イギリス）

Functionalism and Energy in Medicine

Sidney Rose-Neil (ENGLAND)

これまでに正統な医学として人々に受入れられている西洋医学は，歴史的に見ればまだ新参者であって，基本的にはせいぜい100年位の歴史しか経っていない。西洋医学は，また科学的な医学であるとして人々に受け入れられているが，一方でこれは試験管，白衣，実験室，照明光など複雑な器機装置とばく大な費用の伴なった医学でもある。しかるに，西洋医学がこれまで社会にもたらしたものはといえば，あまり感心できない物が多く，世界中の諸国政府がこれに与える支援に値しているかどうかはまことに疑わしい。

英国は60億ポンドもの年間予算を医療保険制度に費やしているが，その結果得たものは何であったろうか。たとえば，中年に達してからの成人の寿命はといえば，100年前から現在に至るまで全然延長していないのである。たしかに，西洋医学によって，ある種の病気はこの世から姿を消してしまったことには感謝するが，むしろこれらの感謝は，便所の掃除人や，公衆衛生関係者や，鉛管工やその他すべての衛生関係者にこそ与えられるべきものかもしれない。つい，3か月前にも，英国で医者の一部がストライキを行ったが，その結果はといえば，かえって死亡率が3％も下がった位であった。

さて，鍼灸治療が非科学的だというふうにいわれているが，鍼灸医療には数千年の歴史があることを忘れてはならない。アメリカ民主々義の父といわれるアブラハム・リンカーンがかっていったことであるが，“一時的にすべての人をだましたり，あるいは一部の人々をいつもだましたりすることはできるが，すべての人達をしょっちゅうあざむく訳にはいかない。”というのがある。たとえば日本人や中国人が数千年もの間東洋の伝統的な医学を受入れて来たからといって，彼等がおろかであるといえようか？西洋医学によれば，これらの数千年間は全然勘定に入れてないので，従って東洋医学が非科学的であるということになるが，ウサギやネズミを使って多少の実験を行ったからといって，すべての結果が科学的に証明されたことになるという方が間違っているのではなかろうか？　このような科学の発達にもかかわらず，昨今のイオンを生成する元素による疾病はむしろ西洋医学と，製薬会社によって作られたものであるといっても良い。そこで庶民は，しょっちゅう医学における大きな発見を今か今かと待ちかまえているのである。

命題は簡単である。つまり，薬が効く間はそれを変えることは必要ないということである。副作用がない限りは，それを拒むことはしないであろうし，また，それが中毒性のものでなければ，変える必要はさらにない。ところで，昨今の苦い現実は，そうではなくて，薬には必ずといって良いほどに副作用があり，製薬会社の効能書ほどの効果がないために，つい使いすぎて中毒症状を起こし，従って，薬にはいまや拒絶反応を示すようにすらなった。それでも，薬

にはすべて科学的な方法での証明が行われているといっているのである。これらの薬がいわゆる科学的医療法の例として用いられているものであって，また数千年の経験的な歴史を持った伝統的な医学がもし非科学的であるとするならば，我々を科学の手から守りたまうよう神に願うほかはない。

西洋医学では，人体は一連の化学的物質から構成していて，それが均衡を伴っている時が健康であるというふうにみている。すなわち，バランスが崩れて来ると，疾病が起こるという発想である。したがって，化学的療法ではこうした信仰のゆえに，ウィルスをやっつけて，化学的な貯えを補充し，病に対する抵抗力を増強し，疼痛の受容器を麻痺させ，疾病のいろいろな徴候から患者を解放したり，などいろいろの事を行っている。そしてそれらの療法をつくしても好転しなければ，手術をしてこれを取り除くか，あるいは死ぬまで治らないなどといわれるだろう。

また，患者にぴったり合うような診断がうまくできないときには，患者自身が病気だと思い込んでいるだけだ，と医者がいうのが常である。その情景はあたかも医者だけが医学的知識をすべて独占していて，診断のできない場合には，初めから患者は病気ではなかったのだというような，医者の思いあがった態度さえ患者にはみられるのである。

そしてまた，患者が鍼灸医の所へ行って，病気が治ったような場合には，今度は，大体そんな病気がはじめから存在していなかったのだという場合が非常に多いが，そういった論法を使えば，いわゆる西洋医学によらないような，鍼灸医学のような非科学的な医療で治せるような病気などは，ひとつもないといわんばかりである。

西洋医学を修めた医師達にとって，一体何がそのように鍼灸医学に対して拒絶反応を起こさせているのであろうか？　それは，我々がほとんど投薬処方なしに済ませているからであろうか？　それとも，我々が患者に対して治療を実施するような場合に，医療器具メーカーの製造になる，いわゆる1台何百万ドルもするような医療器械を使っていないからというのであろうか？　一般的にいって，我々は，西洋医学の医者なら誰でも必要とするような，何のためにやるのか訳の判らないようなテストを数多く実施するということもやらない，そこで我々は“西洋医学の基準”に従えば非科学的なばかりか，ニセ医者ではないかと疑いの眼で見られてさえいるのである。ところが，実際には我々は西洋医学のような化学的治療に頼っているというよりは，一種のエネルギー的治療法に頼っているというのが真相である。つまり伝統的な東洋医学は，長期間にわたって，医療および診断に対して哲学的な接近法にまで徐々に進化した。つまりエネルギーというのは，我々の眼に見える何者かではなく，絶対に我々の眼には映らない何者かなのである。したがって，その効果を実験室で実証するという訳にはゆかない。実験室の場合には，粒子は質量，重量，他と識別可能な運動，形態，その他いくつかの性質を備えており，実験室での検査が可能であるか，エネルギーはそうはゆかない。

エネルギーに固有な性質はといえば，一つのエネルギーの場から他の場へと移した場合，それは常にあらゆる空間を占有しなければならないなどということがある。では何かエネルギーとなり得るかといえば，まずそれ以外は，すべて粒子の形態をとっている。エネルギーの概念を受け入れることは，西洋の科学者にとっては到底考え及ぶ所ではないように思える。つまり，自分に見えないものはテストを行い，測定や計量によって確認し，それができないときはその存在を否定するのが科学的な考え方である。しかし，そのような考え方をする同一人が，日曜日

には教会へ行き，その習慣を全然受け入れることをしないような同じ概念を受け入れようと努力している。また自分達が病気になった時には，これらの同じ科学者が，自分達が実験室で計量したり測定したりできないような何者かに対して祈りを捧げるということを平気で行っている。また科学者達は，光や磁性や重力が真空状態を通過し得るということを受け入れるくせに，そのように受け入れること自体が何を意味するかという現実に直面した場合，固く心を閉ざしてしまうのである。

鍼灸医学が役に立たないという理由はこれっぽっちもなく，またそれがエネルギーの場合に関係がないといえない理由もない。もしそうであれば，西洋医学は，西洋の科学的基準から鍼灸医学が有用であることを絶対に証明できるはずはないであろう。

1972年2月，英国のある消費者団体の発行している雑誌に，鍼灸医療に通う患者の80%は西洋医学の医師達に見放されたケースであって，またそれらの患者の70%以上が，鍼灸医療を受けることにより良くなったとの記事が報告されていた。

多くの分野での報告によれば，人体のすべてが化学的医療で必ずしも治るとは限らないことを示しているようである。我々の周辺をとってもカーリアン写真術，座禅，類症療法，SP，磁性療法，催眠術，テレパシー，手の平療法と，放射線療法，無線療法その他多数の医療法を日常経験している。

原子の妨害を受けたときエネルギーが生じるが，それによって我々は光だとか磁性だとか重力などが原子を通じて認識し得る訳である。そして，我々がこれまでに考えおよびもつかなかったようなエネルギーの形体は何千となく存在しているようである。つまり，我々の原子構造によって妨害を受けたときに，エネルギーが経験できることになる。

私の信ずる所では，エネルギーと粒子の相互作用が機能になるようである。この場合，機能とは生命の必要欠くべからざる本質である。機能が正しくない場合，エネルギーとか化学などはどうなるか？　仮に我々が肝臓の生検を行なっているとして，顕微鏡をのぞいたときに，一体何をのぞいているというのか？　肝臓であろうか？　我々ののぞいているのはさにあらず，肝臓の化学的組成なのである。ところで我々にとって必要なのはその機能なのである。つまり我々は，肝臓の化学的組成を研究してその機能性を決定しようとしている。同様なことが血液その他の実験室で行うテストについてもいえる。会議室でさえも我々は機能について正しい決定を実行しようと試みているのだ。

組織体とは上下の構造をもった組織のことであって，簡単なものから次第に複雑なものへと働くようになっている。つまり小さいものはより大きなものの利益のために滅亡する。毎秒毎秒我々人体の延命をはかるために，何百万もの細胞が死んでいる。脳に向かって，すべての物が，記号的にも構造的にも，機能的にも上方へと働くようになっている。つまり私という個体を維持するためにである。つまり私とは私の脳であって他の細胞はすべてそれに従属し，基本的には脳が生きられるような形で働いている。ところが，この組織内部での合意事項は，時として我々の意識に挑戦する場合がある。たとえば食事のときには，食べた物は直ちにそれが最も要求されている所に正しい時間に正しい分量だけそれが消費されるようになっている。しかし，断食の場合は逆になる。そこでは文字どおり自己消費することになる。幸運なことには，最初一番体で不必要な部分が消化され，かなり長い期間を経るまでは体の重要な器官が破壊されることはないとのことである。つまり，体全体が身体の機能的な機構の一部となっているとみてよい。

西洋医学の医者には失敗も成功もあるが，すべての病に対して診断が下せるようになるまでに，化学的薬品の方はますます科学的なものとなって，何でもがすべてコンピューター化され，すべての疾病に対して外科手術や薬剤ができたとしても，それでもなおかつ失敗はあるであろう。つまり，人間の生命は化学だけでは推し測れないものがあるからである。それと同様に，もし鍼灸医が西洋医と同じ立場にあったとしても，やはり失敗があるのは，それは，すべてがエネルギーで測れるとは限らないからである。

人の生命は平衡，化学，およびエネルギーが共に作用し，かつ個々に働いているものである。西洋医は人体の化学を治療し，また伝統的な鍼灸医がエネルギーを治療したとしても，別々にやる限りは必ず失敗におわる。

機能を完全に実験室だけで研究しようとするのは不可能に近いが，それは，たとえ直接的な観察によってさえも，その攪乱要因となって，それを妨害し変化させるからである。しかし，私は，機能を重視して診断を下すこと，つまり機能的医療診断が将来の医療であることを信じている。このことは，西洋医と鍼灸医が一緒に仕事をするようになって，人体内のエネルギーと化学的な機能をもつと理解するようになり，自然が我々の偉大な教師であることを悟るようになるときに初めて実現することであろう。

Western medicine which has become accepted as orthodox medicine is a newcomer and has a short history, not basically more than a hudred years. Traditional medicine dates thousands of years. Western medicine which is also accepted as scientific medicine is the medicine of test tubes, white coats, laboratories, flashing lights, complicated apparatus and huge costs. What has it achieved? Does it warrant the support it is given by governments throughout the world?

The United Kingdom spends £6,000,000,-000 a year on the health service. What has been achieved? Adults having reached middle age will live no longer now than one hundred years ago. Certain diseases have been wiped out and orthodox medicine takes the credit; but credit must go to the lavatory attendant, the public health officer, the plumber and all those engaged in hygiene.

A few months ago when there was a partial doctors strike in Britain the death rate went down by three per cent.

We are told that acupuncture is unscientific, yet we have the tradition of thousands of years behind us. Abraham Lincoln, the father of American democracy said, "you can fool all the people some of the time and some of the people all the time but you cannot fool all the people all the time". How foolish are the Chinese and the Japanese people? for they have accepted traditional medicine for thousands of years. Western medicine says these thousands of years amount to nothing and it is unscientific. However, a few experiments on rabbits, rats or mice and our western colleagues say all is proved and scientific. In spite of this so called science, Iogenic disease is our inheritance from orthodox medicine and the drug houses. The lay public believe that medicine is always on the brink of great discoveries.

It is a simple proposition; if a drug works, why do we need to change it? If there are no side effects, we are not resistant and it is not addictive, then why do we need to change it? The painful truth is that drugs have side effects, they do not work as the drug houses tell us they do, we do become addictive, and we do become resistant. And yet all the drugs are supported by scientific verification.

If these drugs are the examples of scientific medicine and traditional medicine with its empirical history of thousands of years is unscientific, then god save us from science.

Western medicine sees the human body as a series of chemicals which when balanced produce health. If there is an imbalance there is disease. Chemotherapy develops in the light of these beliefs to overpower viruses, to supply a chemical reserve, to increase resistance, to overpower pain receptors, to relieve symptoms and so on. If this fails then surgery may be resorted to, or the patient told to live with the disease.

Often when a suitable diagnosis cannot be made the patient is told he is imagining the disease. It is as if we are at the peak of all medical knowledge and if we cannot make a diagnosis then there cannot possibly be anything wrong.

If a patient goes to a traditional doctor and gets well, then often he will be told that the disease never existed in the first place. The argument implies that no-one can be cured from a disease by a non-scientific medicine.

What is it about our medicine that makes it so difficult for the western doctor to accept? Is it that we do not prescribe drugs at the least provocation? or is it that we handle our patients without the multi-million dollars aids of the medical apparatus manufacturers. We do not need even, generally, to resort to the multitude of indefinable tests that the orthodox doctor needs. We become not only unscientific "western style" but are also viewed with suspicion. The truth is that we do not practice chemical therapy, but a form of energy therapy. Traditional medicine has evolved a philosophical approach to energy, medicine and diagnosis by a long and slow process. Energy is not something we can see, we will never see it. It cannot be demonstrated in the laboratory. A particle in the last analysis has mass, weight, discernable movement, shape and other characteristics and can be evaluated in the laboratory but energy cannot.

Some of the characteristics of energy are that it must occupy all space immediately for all time with complete superimposition of one field of energy upon another. How else can it be energy? All else must be forms of particle. To accept concepts of energy is too much for many western scientists, if he cannot see it, test it, measure it, weigh it, then it cannot exist. These same people however will go to church on a Sunday, prepared to accept on a Sunday these very concepts they will not accept during the week. When they become ill these same scientists pray to something which cannot be measured, or tested in a laboratory. The scientist accepts that light, magnetism and gravitation pass through a vacuum but when it comes to the reality of what that acceptance implies, minds become immediately closed.

There is no reason why acupuncture should not work and no reason why it should not be associated with energy fields. If that is the case then western medicine will never be able to verify acupuncture in the western scientific sense.

In February 1972, a consumers magazine in the United Kingdom produced a report that showed that 80% of the patients who attend for acupuncture treatment were orthodox medical failures and over 70% of those same patients were greatly improved with acupuncture treatment.

In many areas of research information is emerging which demonstrates that not all is chemistry; we have only to think of Kirlian photography, meditation, homoeopathy, extra sensory perception, magnet healing, auras, telepathy, the laying on of hands, radiethesia, radionics and a host of other treatments and experiences.

Energy is experienced when it is interfered with by an atom; hence we experience light, magnetism and gravity as it passes atoms. How many more forms of energy may exist which we have not contemplated? maybe thousands. Energy is

then experienced when it is interfered with by our atomic structure.

It is my belief that function is the interaction of energy and particle. Function is the essential stuff of life. What does it matter about energy or chemistry if function is not right? When we take a biopsy of the liver and look at it under the microscope, what are we looking at?, Liver?, No; we are looking at the chemistry of the liver. What matters is its function. We attempt to determine its functionability by its chemistry. The same applies to blood and other laboratory analysis. Even in the consulting room we are attempting to determine function.

The organism is a hierarchical entity, it works from the lesser to the greater. The lesser will perish for the benefit of the greater. Each moment millions of cells die in order that we may live. Everything moves symbolically, structurally and functionally upwards towards the brain; the I. I am my mind, all else is subservient in the body; everything basically works so that the brain may live. The innate understanding of the organism defies our consciousness. Look at eating, the food goes immediately, innately to where it is needed the most, in the right quantities, at the right time. This process is reversed in a fast. In a fast one literally eats oneself up. Fortunately, the body eats that what it needs the least first, only after a long while are essential organs destroyed. All this is part of the bodies functioning mechanisms.

The western doctor has his successes and his failures. But if chemical medicine went on becoming more and more scientific until everything could be diagnosed, everything computerised and we had surgery and a drug for everything it would still fail. Life is not chemistry. The acupuncturist in the same position would also fail for all is not energy.

Life is a balance, chemistry and energy work together and yet separately. The western doctor can treat the chemistry of the body and the traditional eastern doctor the energy, but either as separate entities will fail.

Function is impossible to investigate fully in the laboratory, the touching of function, even its direct observation disturbs and alters it. Yet I have no doubt that diagnosis by function and functional medicine is the medicine of the future. This will come about when we learn to work together as partners, the western style doctor and the eastern style doctor when we learn to observe the function of energy and chemistry within the human body and learn that nature is our guru.

(34 Alderney Street, London, SWIV 4EU. England)